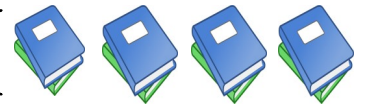


女性センター図書室より



新着図書紹介（令和3年6月）

女性センター「ハーモニー」図書室 ～悩みや生き方の問題に直結する資料を集めています～

**足をどかしてくれませんか。
—メディアは私たちの声を届けているか**

林香里 / 編 小島慶子 ほか / 著
亜紀書房



男性中心に作られるジャーナリズムの「ふつう」は社会の実像とズレている。メディアが世界を映す鏡なら、女性の「ふつう」も、マイノリティの「ふつう」も映してほしい。女たちが考える“みんな”のためのジャーナリズム。

**離れたくても離れられないあの人からの「攻撃」
がなくなる本**

Joe / 著
SBクリエイティブ



上司、同僚、夫婦・恋人、家族、親戚、友達…
あなたのまわりにいる理不尽なあの人からの「攻撃」の対処法を、気鋭のカウンセラーが具体的で実践的な「8つのステップ」で紹介。

**【改訂】性の“幸せ”ガイド
—若者たちのリアルストーリー—**

関口久志 / 著
エイデル研究所



若者たちの性に対する問題を解決すべく、リアルな若者のストーリーを通して、誰もが性と“幸せ”なかかわりを見つけしていくためのガイドブック。

炎上CMでよみとくジェンダー論

瀬地山角 / 著
光文社



SNSが発達した現代、ジェンダーに対する無理解に端を発する炎上案件は数知れない。社会学者が「CM」を切り口に語る、目から鱗のジェンダー論。

災害女性学をつくる

浅野富美枝・天童睦子 / 編著
生活思想社



東日本大震災から10年。宮城で、また日本各地でこの間に女性主体で活動してきた市民団体の実践、災害研究を丁寧に辿り、「災害女性学」というあらたな学問分野を切り拓いた一冊。

**私たちにはことばが必要だ
—フェミニストは黙らない**

イ・ミンギョン / 著
タバブックス



あなたには、自分を守る義務がある。自分を守ることは、口をひらき、声を上げることからはじまるソウル・江南駅女性刺殺事件をきっかけに、女性たちが立ち上がった。



鶴ヶ島市女性センター「ハーモニー」図書室

[貸出日] 火～土曜日 9時～17時（祝日、年末年始、全館清掃日はお休みです。）

〒350-2213 鶴ヶ島市大字脚折1922番地7 電話 049-287-4755 FAX 049-271-5297